

日銀短観(2011年9月調査)予測

- (1) 10月3日公表予定の日銀短観(2011年9月調査)では、震災からの復旧・復興の進展や節電特需などを受けて、業況判断DIは大きく改善すると予想(図表1、2)。
- (2) 業種別(大企業)にみると、製造業は+5%ポイントと、前回調査対比+14%ポイントの大幅改善を予想。工場の操業再開による供給制約の解消で、生産が順調に回復したことを受けて、自動車や化学などで上昇の見込み。非製造業では、消費マインドの改善を受けた個人消費の持ち直しを背景に、卸・小売、宿泊・飲食サービスなどで上昇が見込まれ、DIは+2%ポイントと、同+7%ポイントの改善を予想。
- (3) 12月を展望した先行き見通しDI(大企業)は回復・復興の動きに支えられて、製造業で+9%ポイント、非製造業で+3%ポイントと、いずれも上昇が続くと予想。もっとも、震災による落ち込みからの急回復が一服したとみられるなか、円高や世界経済の不透明感による先行き懸念は根強く、DIの上昇幅は前期よりも縮小する見込み。

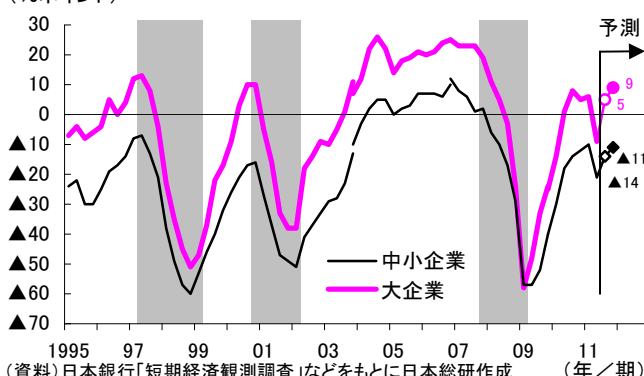
(図表1)業況判断DI(「良い」-「悪い」)
(%ポイント)

		(実績)		(当社予測)	
		2011年 3月	2011年 6月	2011年 9月	先行き
大企業	製造業	6	▲9	5	9
	非製造業	3	▲5	2	3
	全産業	5	▲8	4	6
中堅企業	製造業	▲4	▲12	0	4
	非製造業	▲6	▲17	▲11	▲9
	全産業	▲5	▲15	▲7	▲4
中小企業	製造業	▲10	▲21	▲14	▲11
	非製造業	▲19	▲26	▲21	▲19
	全産業	▲15	▲24	▲18	▲16
全規模	製造業	▲4	▲15	▲5	▲2
	非製造業	▲11	▲20	▲14	▲12
	全産業	▲9	▲18	▲11	▲8

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などをもとに日本総研作成

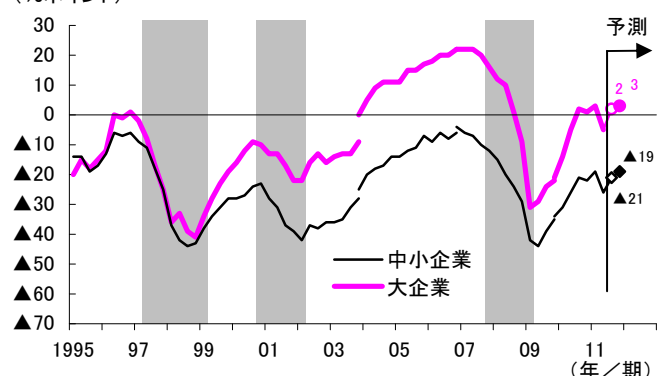
(図表2)業況判断DIの推移

【製造業】
(%ポイント)



(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などをもとに日本総研作成
(注1) ○、◇印は2011年9月予測値。塗りつぶしは先行き(12月)予測値。
(注2)シャド一部は景気後退期を表す。

【非製造業】
(%ポイント)



- (4) 2011年度の設備投資計画（土地投資額を含み、ソフトウェア投資額を除く）は、全規模全産業ベースで前年度比+1.5%と、前回調査対比+1.5%の上方修正を予想（図表3）。
- (5) 業種別（大企業）にみると、製造業と非製造業がそれぞれ前年度比+9.9%（前回調査対比+0.6%）、同+2.7%（+1.0%）と上方修正を予想。復旧・復興の進展と堅調な新興国経済を背景に上積み。もっとも、円高や欧米経済の減速懸念による収益下押し圧力が、企業の設備投資マインドを下期にかけてやや慎重化させる可能性も。
- (6) 中小企業では初回調査（3月）以降、期を追って設備投資計画が上方修正される傾向があることを踏まえ、全産業で前年度比▲21.7%と、前回調査対比+4.3%の上方修正を予想。もっとも、中小企業を取り巻く収益環境は依然として厳しさがみられることから、修正幅は例年対比で小幅にとどまる見込み。

(図表3)設備投資計画
(土地投資額を含みソフトウェア投資額を除く、前年度比)
(%)

		(実績) 2011年6月		(当社予測) 2011年9月	
		2010年度 (実績)	2011年度 (計画)	2011年度 (計画)	<修正率>
大企業	製造業	▲ 3.5	9.2	9.9	< 0.6>
	非製造業	▲ 1.0	1.7	2.7	< 1.0>
	全産業	▲ 1.9	4.2	5.1	< 0.9>
中堅企業	製造業	0.6	23.8	26.2	< 1.9>
	非製造業	▲ 8.9	▲ 5.7	▲ 2.5	< 3.4>
	全産業	▲ 5.7	5.1	7.9	< 2.7>
中小企業	製造業	9.8	▲ 4.1	▲ 1.0	< 3.3>
	非製造業	▲ 1.6	▲ 35.8	▲ 32.6	< 5.1>
	全産業	2.0	▲ 24.9	▲ 21.7	< 4.3>
全規模	製造業	▲ 1.1	9.4	10.7	< 1.2>
	非製造業	▲ 2.3	▲ 4.9	▲ 3.3	< 1.7>
	全産業	▲ 1.9	0.0	1.5	< 1.5>

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などをもとに日本総研作成